

項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件 ・備考	検査目的および異常値 を示す主な疾患名
ウイルス 感染症 検査	3004 アデノウイルス <small>5F150-1430-023-141</small>	血清0.2 <small>速やかに遠心</small>	1	冷蔵	4~6	① 79 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	下記参照 (*CF) ※02	急性上・下気道感染症 (1~7型) 咽頭結膜熱 (3、7型) 流行性角結膜炎 (3、7、8、19、37型)
	3069 アデノウイルス1型 <small>5F151-1430-023-151</small>	血清各0.2	1	冷蔵	8~14		NT法 (中和反応)	4未満 倍	下記参照 (*NT)	
	3070 アデノウイルス2型 <small>5F152-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3071 アデノウイルス3型 <small>5F153-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3072 アデノウイルス4型 <small>5F154-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3073 アデノウイルス5型 <small>5F155-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3074 アデノウイルス6型 <small>5F156-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3075 アデノウイルス7型 <small>5F157-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3076 アデノウイルス8型 <small>5F158-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	1132 アデノウイルス11型 <small>5F161-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	3077 アデノウイルス19型 <small>5F169-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	アデノウイルス21型 <small>5F171-1430-023-151</small>							4未満 倍		
	1133 アデノウイルス37型 <small>5F177-1430-023-151</small>							4未満 倍		

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ) を参照ください。

*CF (補体結合反応) : 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT (中和反応) : 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名					
ウイルス感染症検査	3037 インフルエンザウイルス A型 (H1N1) (H3N2) 5F400-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	4~6	①② 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	10未満	倍 検査結果はWHO方式の血清希釈倍数で表示しています 下記参照 (*HI法) ※02	A型及びB型インフルエンザウイルス感染後 インフルエンザワクチン接種後					
	3001 インフルエンザウイルス A型 5F400-1430-023-141	血清0.2 速やかに遠心					CF法 (補体結合反応)	4未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02						
	3231 インフルエンザウイルス B型 B-1 (山形系統) B-2 (ヒクトリア系統) 5F410-1430-023-111	血清0.2					HI法 (赤血球凝集抑制反応)	10未満	倍 検査結果はWHO方式の血清希釈倍数で表示しています 下記参照 (*HI法) ※02						
	3002 インフルエンザウイルス B型 5F410-1430-023-141	血清0.2 速やかに遠心					CF法 (補体結合反応)	4未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02						
	3033 パラインフルエンザウイルス 1型 5F421-1430-023-111	血清各0.2					1	冷蔵	4~6		① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	10未満	倍 検査結果はWHO方式の血清希釈倍数で表示しています 下記参照 (*HI法) ※02	パラインフルエンザウイルス感染後 呼吸器感染症 (1~3型)
	3034 パラインフルエンザウイルス 2型 5F422-1430-023-111														
	3035 パラインフルエンザウイルス 3型 5F423-1430-023-111														
	3020 RSウイルス 5F430-1430-023-141	血清0.2 速やかに遠心					1	冷蔵	4~6		① 79 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満	倍 下記参照 (*CF法) ※02	上気道炎 気管支炎 肺炎
	3040 RSウイルス 5F430-1430-023-151	血清0.2										8~12			

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ) を参照ください。

②「インフルエンザウイルスA型」若しくは「インフルエンザウイルスB型」又は、「インフルエンザウイルス抗原定性」を併せて実施した場合は、主たるもののみ算定する。

*CF法 (補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT法 (中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です) 検体量 0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*HI法 (赤血球凝集抑制反応): 出発希釈 10倍 (髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 10倍未満 出発希釈 10倍)



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	提出条件・備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
3057	エコーウイルス 1型 5F311-1430-023-151	血清各0.2	1	冷蔵	8~12	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照 (*NT法)	無菌性髄膜炎 中枢神経疾患 上気道炎 発疹 麻疹 心嚢炎 心筋炎 ヘルパンギーナ 筋痛症 気道疾患 肝炎	
3058	エコーウイルス 3型 5F313-1430-023-151						4未満	倍 下記参照 (*NT法)			
3027	エコーウイルス 3型 5F313-1430-023-111						4~6	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満		倍 下記参照 (*HI法)
3059	エコーウイルス 4型 5F314-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
5325	エコーウイルス 5型 5F315-1430-023-151						8~14	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
3060	エコーウイルス 6型 5F316-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
3061	エコーウイルス 7型 5F317-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
3028	エコーウイルス 7型 5F317-1430-023-111						4~6	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満		倍 下記参照 (*HI法)
3062	エコーウイルス 9型 5F319-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
5326	エコーウイルス 11型 5F321-1430-023-151						8~14	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
3029	エコーウイルス 11型 5F321-1430-023-111						4~6	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満		倍 下記参照 (*HI法)
5327	エコーウイルス 12型 5F322-1430-023-151						8~14	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
3030	エコーウイルス 12型 5F322-1430-023-111						4~6	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満		倍 下記参照 (*HI法)
3063	エコーウイルス 13型 5F323-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
4711	エコーウイルス 14型 5F324-1430-023-151						8~14	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
5329	エコーウイルス 16型 5F326-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
3064	エコーウイルス 17型 5F327-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
5330	エコーウイルス 18型 5F328-1430-023-151						8~12	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
4712	エコーウイルス 19型 5F329-1430-023-151						8~14	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
4713	エコーウイルス 21型 5F331-1430-023-151						8~14	NT法 (中和反応)	4未満		倍 下記参照 (*NT法)
4644	エコーウイルス (パレコウイルス型) 22型 5F332-1430-023-151	8~14	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照 (*NT法)						
4714	エコーウイルス 24型 5F334-1430-023-151	8~14	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照 (*NT法)						
3065	エコーウイルス 25型 5F335-1430-023-151	8~12	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照 (*NT法)						
3066	エコーウイルス 30型 5F340-1430-023-151	8~12	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照 (*NT法)						

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ) を参照ください。

*N T 法 (中 和 反 応) : 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*HI法 (赤血球凝集抑制反応) : 出発希釈 8倍 (髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 8倍未満 出発希釈 8倍)



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値を示す主な疾患名		
1128	コクサッキーウイルス A群2型 5F282-1430-023-151	血清各0.2	1	冷蔵	8~14	79 免疫	NT法 (中和反応)	倍	下記参照(*NT法)	ヘルパンギーナ(A群) 急性リンパ(結節性)髄膜炎 (A群10型) 無菌性髄膜炎 手足口病(A群10,16型)		
1129	コクサッキーウイルス A群3型 5F283-1430-023-151				8~14							
5318	コクサッキーウイルス A群4型 5F284-1430-023-151				8~14							
5523	コクサッキーウイルス A群5型 5F285-1430-023-151				8~14							
4642	コクサッキーウイルス A群6型 5F286-1430-023-151				8~14							
3048	コクサッキーウイルス A群7型 5F287-1430-023-151				8~14							
3049	コクサッキーウイルス A群9型 5F289-1430-023-151				8~14							
3013	コクサッキーウイルス A群9型 5F289-1430-023-141				4~6						CF法 (補体結合反応)	下記参照(*CF法) ※02
1130	コクサッキーウイルス A群10型 5F290-1430-023-151				8~14						NT法 (中和反応)	下記参照(*NT法)
3050	コクサッキーウイルス A群16型 5F296-1430-023-151				8~14							
3051	コクサッキーウイルス B群1型 5F301-1430-023-151				8~14		4未満	下記参照(*CF法) ※02	夏かぜ症候群 無菌性髄膜炎 麻痺 気道性疾患 心筋炎 熱性疾患			
3014	コクサッキーウイルス B群1型 5F301-1430-023-141				4~6					CF法 (補体結合反応)		
3052	コクサッキーウイルス B群2型 5F302-1430-023-151				8~14					NT法 (中和反応)	下記参照(*NT法) ※02	
3015	コクサッキーウイルス B群2型 5F302-1430-023-141				4~6					CF法 (補体結合反応)	下記参照(*CF法) ※02	
3053	コクサッキーウイルス B群3型 5F303-1430-023-151				8~14					NT法 (中和反応)	下記参照(*NT法) ※02	
3016	コクサッキーウイルス B群3型 5F303-1430-023-141				4~6					CF法 (補体結合反応)	下記参照(*CF法) ※02	

❶ ウイルス抗体価(定性・半定量・定量)(76ページ)を参照ください。

*CF法(補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍

*NT法(中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍(髄液の測定も可能です) 検体量 各0.4mL(冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
ウイルス感染症検査	3054 コクサッキーウイルス B群4型 5F304-1430-023-151	血清各0.2	1	冷蔵	8~14	① 79 免疫	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照(*NT法) ※02		
	3017 コクサッキーウイルス B群4型 5F304-1430-023-141				4~6		CF法 (補体結合反応)				下記参照(*CF法) ※02
	3055 コクサッキーウイルス B群5型 5F305-1430-023-151				8~14		NT法 (中和反応)				下記参照(*NT法) ※02
	3018 コクサッキーウイルス B群5型 5F305-1430-023-141				4~6		CF法 (補体結合反応)				下記参照(*CF法) ※02
	3056 コクサッキーウイルス B群6型 5F306-1430-023-151				8~14		NT法 (中和反応)				下記参照(*NT法) ※02
	3019 コクサッキーウイルス B群6型 5F306-1430-023-141				4~6		CF法 (補体結合反応)				下記参照(*CF法) ※02
1428 エンテロウイルス 70型 5F270-1430-023-151	血清各0.2	1	冷蔵	7~13			NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照(*NT法) ※02	急性出血性結膜炎	
3068 エンテロウイルス 71型 5F271-1430-023-151											手足口病
3045 ポリオウイルス 1型 5F251-1430-023-151	血清各0.2	1	冷蔵	8~14		① 79 免疫	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照(*NT法) ※02	急性灰白髄炎 (ポリオ)	
3046 ポリオウイルス 2型 5F252-1430-023-151											
3047 ポリオウイルス 3型 5F253-1430-023-151											

①ウイルス抗体価(定性・半定量・定量) (76ページ) を参照ください。

*CF法 (補体結合反応) :補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT法 (中和反応) :細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要 日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備 考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
ウイルス感染症検査	3024 日本脳炎ウイルス (JaGAR株) 5F385-1430-023-111	血清0.2	1	冷蔵	5~11	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	10未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 出発希釈 血清10倍、 髄液1倍 ※01	日本脳炎
	3010 日本脳炎ウイルス 5F385-1430-023-141	血清0.2 速やかに遠心	1	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 出発希釈 血清4倍、 髄液1倍 下記参照 (*CF法) ※02	
	1225 ムンプスウイルス IgM 5F432-1432-023-023	血清各0.4	1	冷蔵	3~4	② 218 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	
	1224 ムンプスウイルス IgG 5F432-1431-023-023							2.0未満 (-) 判定基準:下記参照		
	3031 ムンプスウイルス 5F432-1430-023-111	血清各0.2	1	冷蔵	4~6	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 8未満 (倍) 出発希釈 血清8倍、 髄液8倍 ※02	耳下腺炎 無菌性髄膜炎 肺炎 精巣炎 卵巣炎
	3042 ムンプスウイルス 5F432-1430-023-151						NT法 (中和反応)	4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 下記参照 (*NT法) ※02	
	3003 ムンプスウイルス 5F432-1430-023-141				血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	4~6	CF法 (補体結合反応)	
	1222 麻疹ウイルス IgM 5F431-1432-023-023	血清各0.4	1	冷蔵	3~4	② 218 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	
	1221 麻疹ウイルス IgG 5F431-1431-023-023							2.0未満 (-) 判定基準:下記参照		
	3025 麻疹ウイルス 5F431-1430-023-111	血清各0.2	1	冷蔵	4~7	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) ※01	麻疹 (はしか)
3041 麻疹ウイルス 5F431-1430-023-151	8~14				NT法 (中和反応)		4未満 倍	髄液の測定も可能です 検体量0.2mL (冷蔵) [髄液基準値] 1未満 (倍) 下記参照 (*NT法) ※01		

① ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ) を参照ください。

② グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (76ページ) を参照ください。

* CF法(補体結合反応) : 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍

* NT法(中和反応) : 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますのでご注意ください。

出発希釈 血清4倍

[1225,1224] ムンプスウイルス (血清) の判定基準
[1222,1221] 麻疹ウイルス

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
ウイルス感染症検査	3099 風疹ウイルス IgM <small>5F395-1432-023-023</small>	血清各0.4	1	冷蔵	3~4	② 218 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準: 下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	風疹 (3日はしか)	
	3098 風疹ウイルス IgG <small>5F395-1431-023-023</small>							2.0未満 (-) 判定基準: 下記参照			
	0329 風疹ウイルス <small>5F395-1430-023-111</small>	血清0.2	1	冷蔵	4~5	① 79 免疫	HI法 (赤血球凝集抑制反応)	8未満	倍 髄液の測定も可能です 検体量0.4mL (冷蔵) 【髄液基準値】1未満 (倍) 出発希釈 血清8倍、 髄液1倍 ※01		
	1336 ヒトパルボウイルスB19 (パルボウイルスB19) IgM <small>5F011-1432-023-023</small>	血清各0.4	1	冷蔵	3~5	②③ 218 免疫	EIA法	0.80未満 陰性 判定基準: 下記参照			伝染性紅斑 (リンゴ病) ※01
	1467 ヒトパルボウイルスB19 (パルボウイルスB19) IgG <small>5F011-1431-023-023</small>										
	3094 水痘・带状疱疹ウイルス (VZV) IgM <small>5F193-1432-023-023</small>	血清各0.4	1	冷蔵	3~4	② 218 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準: 下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01		水痘 带状疱疹
	3093 水痘・带状疱疹ウイルス (VZV) IgG <small>5F193-1431-023-023</small>							2.0未満 (-) 判定基準: 下記参照			
3006 水痘・带状疱疹ウイルス (VZV) <small>5F193-1430-023-141</small>	血清0.3 <small>速やかに遠心</small>	1	冷蔵	4~6	① 79 免疫	CF法 (補体結合反応)	4未満	倍 髄液の測定も可能です 検体量0.5mL (冷蔵) 【髄液基準値】1未満 (倍) 出発希釈 血清4倍、 髄液1倍 下記参照 (*CF法) ※01			

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ) を参照ください。

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (76ページ) を参照ください。

③ヒトパルボウイルスB19は、紅斑が出現している15歳以上の成人について、このウイルスによる感染症が強く疑われ、IgM型ウイルス抗体価を測定した場合に算定する。

*CF法 (補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。
出発希釈 血清4倍

[3099, 3098] 風疹ウイルス
[3094, 3093] 水痘・带状疱疹ウイルス (血清) の判定基準

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA価)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

[1336, 1467] ヒトパルボウイルスB19 (判定基準)

判定	抗体指数
陰性 (-)	0.80未満
判定保留 (±)	0.80~0.99
陽性 (+)	1.00以上

1 プレイン容器



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名
3097	単純ヘルペスウイルス (HSV) IgM 5F190-1432-023-023	血清0.4	1				EIA法	0.80未満 (-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量0.7mL (冷蔵) ※01	主病変部位 1型:上半身 2型:下半身(性器) ヘルペスウイルス性角結膜炎 歯肉口内炎 ヘルペスウイルス性湿疹 ヘルペス脳炎
3096	単純ヘルペスウイルス (HSV) IgG 5F190-1431-023-023	血清0.4	1	冷蔵	3~4	218 免疫		2.0未満 (-) 判定基準:下記参照	※01	
1296	単純ヘルペスウイルス (HSV) (髄液) IgG 5F190-1431-041-023	髄液0.7	2					0.20未満 (-) 判定基準:下記参照	※01	
3043	単純ヘルペスウイルス (HSV) 1型 5F191-1430-023-151	血清各0.2	1	冷蔵	7~13	79 免疫	NT法 (中和反応)	4未満	倍 下記参照 (*NT法) 1型,2型間には 抗原交差性が あります。 ※02	
3044	単純ヘルペスウイルス (HSV) 2型 5F192-1430-023-151									
3005	単純ヘルペスウイルス (HSV) 5F190-1430-023-141	血清0.3 速やかに遠心	1	冷蔵	4~6		CF法 (補体結合反応)	4未満	倍 髄液の測定も可能です 検体量0.5mL (冷蔵) 【髄液基準値】1未満 (倍) 下記参照 (*CF法) ※01	
2550	ヒトヘルペスウイルス6型 IgM 5F210-1432-023-162	血清各0.2	1	冷蔵 (10日)	4~6		FA法 (蛍光抗体法)	10未満	倍 出発希釈 10倍 ※02	突発性発疹
2549	ヒトヘルペスウイルス6型 IgG 5F210-1431-023-162									
4071	サイトメガロウイルス (CMV) IgM 5F194-1432-023-023	血清各0.4	1	冷蔵	3~4	218 免疫	EIA法	0.80未満 (-) 判定基準:下記参照	髄液の測定も可能です 検体量各0.7mL (冷蔵) ※01	サイトメガロウイルス 感染症
3095	サイトメガロウイルス (CMV) IgG 5F194-1431-023-023							2.0未満 (-) 判定基準:下記参照		
3021	サイトメガロウイルス (CMV) 5F194-1430-023-141							血清0.3 速やかに遠心		

①ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページ参照)

②グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (76ページ参照)

*CF法 (補体結合反応): 補体結合反応におきましては抗補体作用がみられ、測定不能になる場合がありますので、抗凝固剤を入れずに採血して速やかに血清分離し冷蔵保存してください。

出発希釈 血清4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.5mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

*NT法 (中和反応): 細菌繁殖などにより細胞が汚染され、測定不能になる場合がありますので、ご注意ください。

出発希釈 血清4倍 (髄液の測定も可能です 検体量 各0.4mL (冷蔵) 基準値 1倍未満 出発希釈 1倍)

[3097] 単純ヘルペスウイルスIgM [3096] 単純ヘルペスウイルスIgG の判定基準

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA値)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

[4071,3095] サイトメガロウイルス (血清) の判定基準

判定	IgM (抗体指数)	IgG (EIA値)
-	0.80未満	2.0未満
±	0.80~1.20	2.0~3.9
+	1.21以上	4.0以上

[1296] 単純ヘルペスウイルスIgG (髄液) の判定基準

判定	EIA値
-	0.20未満
±	0.20~0.39
+	0.40以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料 判断料	検査方法	基準値(単位)	備考	検査目的および異常値を示す主な疾患名	
ウイルス感染症検査	4801 EBV IgG抗体 <small>5F201-1431-023-023</small>	血清0.4	1	冷蔵	4~6		EIA法	判定基準:下記参照	判定結果とともにインデックス値を併記しますが、これはウイルス抗原に対する抗体の反応の強さを表します。 ※01	EBウイルス感染症 伝染性単核症 バーキットリンパ腫 上咽頭癌 ※02	
	4802 EBV IgM抗体 <small>5F201-1432-023-023</small>										
	4792 EBウイルス 抗EA-IgG <small>5F203-1431-023-023</small>	血清0.2	1	冷蔵	3~5	① 218 免疫	EIA法	0.5未満 陰性 判定基準:下記参照			
	4793 EBウイルス 抗VCA IgM <small>5F202-1432-023-023</small>										
	4794 EBウイルス 抗VCA IgG <small>5F202-1431-023-023</small>										
	4795 EBウイルス 抗EBNA IgG <small>5F204-1431-023-023</small>										
	3081 EBウイルス 抗EA-DR IgG <small>5F203-1431-023-162</small>										
	3079 EBウイルス 抗VCA IgM <small>5F202-1432-023-162</small>				4~6		② 79 免疫	FA法 (蛍光抗体法)	10未満		出発希釈 10倍
	3078 EBウイルス 抗VCA IgG <small>5F202-1431-023-162</small>										
	3083 EBウイルス 抗EBNA <small>5F204-1430-023-162</small>										
	3080 EBウイルス 抗VCA IgA <small>5F202-1433-023-162</small>										
	3082 EBウイルス 抗EA-DR IgA <small>5F203-1433-023-162</small>										

- ①グロブリンクラス別ウイルス抗体価 (76ページを参照ください。)
- ②ウイルス抗体価 (定性・半定量・定量) (76ページを参照ください。)

[4801]EBV-IgG (EIA法)、[4802]EBV-IgM (EIA法) の判定基準

判定	インデックス値	
	G.I 値	M.I 値
(-)	1.0未満	1.0未満
(±)	1.0~2.0	
(+)	2.1以上	1.0以上

[4792~4795]EBウイルス (EIA法) の判定基準

判定	抗体指数
(-)	0.5未満
(±)	0.5~0.9
(+)	1.0以上



項目コード	検査項目	検体量 (mL)	容器	保存 (安定性)	所要日数	実施料	検査方法	備考
分離・同定	5341 ウイルス分離 6B655-0000-099-748	下記参照	33	冷蔵	5~22		細胞変性効果、血球吸着現象、赤血球凝集反応	凍結保存は避けてください。分離、同定検査は以下の細胞を使用します。PHFb (ヒト繊維芽細胞)、HEp-2 (ヒト喉頭癌細胞)、Vero (ミドリザル腎細胞)、MA104 (アカモザル腎細胞)、RD-18S (ヒト横紋筋腫細胞)、MDCK (イヌ腎細胞)、B95a (マーモセットB細胞)、AGMK (アフリカミドリザル腎細胞)、A549 (ヒト肺癌細胞)、Caco-2 (ヒト結腸癌細胞) ※02
	5342 ウイルス同定 6B705-0000-099-748	※1参照	33	冷蔵	14~30		標準抗血清による中和反応・免疫蛍光抗体法・赤血球凝集抑制反応	

<検査材料>

ウイルス分離・同定検査を実施するためには適切な分離用検査材料と、同時に発病後できるだけ早期に採取することが大切です。ウイルス分離材料の選択は、分離率向上のため、できる限り複数の材料をご提出ください。

臨床症状	分離可能ウイルス	主要検査材料
上気道感染症	ライノ、パラインフルエンザ	咽頭ぬぐい液、鼻分泌液
	アデノ、コクサッキー、エコー	咽頭ぬぐい液、糞便
下気道感染症	インフルエンザ、パラインフルエンザ、アデノ、RS、サイトメガロ	咽頭ぬぐい液、喀痰、気管支洗浄液
紅斑性発疹症	麻疹、風疹	咽頭ぬぐい液
	エコー、コクサッキー	咽頭ぬぐい液、糞便
水疱性発疹症	単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	水疱内容
	コクサッキー、エンテロ71	水疱内容、咽頭ぬぐい液、糞便
中枢神経系疾患	エコー、コクサッキー、ポリオ	咽頭ぬぐい液、髄液、糞便
	水痘・帯状ヘルペス、ムンプス	咽頭ぬぐい液、髄液
先天性異常	サイトメガロ、風疹	咽頭ぬぐい液、尿、髄液
	単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	水疱内容
嘔吐・下痢症	エコー、コクサッキー、アデノ	咽頭ぬぐい液、糞便
	ロタ	糞便
出血性膀胱炎	アデノ	尿
耳下腺炎	ムンプス	咽頭ぬぐい液
眼疾患	アデノ、単純ヘルペス、水痘・帯状ヘルペス	結膜ぬぐい液

<検体採取および保存方法>

検査材料	ウイルス専用容器への採取方法
患部ぬぐい液・水疱内容・糞便 等	滅菌綿棒でぬぐい、下図の採取方法でウイルス専用保存液に採取し、冷蔵保存してください。
尿・髄液・胸水・鼻汁 等	下図の採取方法でウイルス専用保存液と等量の検体を採取し、冷蔵保存してください。
組織	組織小片 (5mm角程度) をウイルス専用保存液に入れ冷蔵保存してください。

※1 同定検査は委託先の分離検査において分離された検体のみの受付となります。

●ウイルス専用保存液は当所にて準備しておりますので、ご依頼前に営業担当員にお申し付けください。

管壁でよく擦ります

綿棒は抜き取ってください

きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください

ウイルス専用保存液

便 数回突き刺します

表面を転がします

きちんとキャップを締めて冷蔵保存し提出してください

2.5mL

2.5mL

液状検体 (尿等) は、ウイルス専用保存液と等量混合してください。検体量が保存液より少ない場合、保存液は捨てずに、そのままご提出可能な量の検体を入れてください。

